


令和3年度高教研学校図書館部会備前支部協議会
第4回司書部会研修会代替アンケートまとめ

■本や文字を読む習慣がない生徒を図書館に呼び込む方法

1	<p>月1回の新着案内をクラスルームに配信しているが、特別なことはしていない。 何かしたいと考えているが、授業活用や急な見学対応に追われて出来ていません。</p>
2	<p>廊下に図書の展示スペースがあるので、図書委員と司書で毎月テーマを変えて展示を作りました。手に取ってくれる生徒は見かけますが、館内にはなかなか入ってきません。</p> 
3	<p>授業や自習などで図書室を利用される際、一話数ページで終わる短編があることや、絵本を置いてあること、様々な写真集や雑誌があることなど、どんな種類の書籍が配架してあるのかを機を見て伝えてきた。そうすることで、本や文字を読む習慣がなくても「絵本なら」、「このくらいの短編なら」、「雑誌なら、」と手に取ってもらえる機会が増えたように思う。また、短編などで「面白かった」「自分でも読めた」という経験をしてくれた生徒が図書室に来ることで、その生徒の友人も「暇だから」と一緒に図書室を訪れてくれる回数が増えた。図書室に足を運んで、ここに図書室がある、教室などとはまた違った雰囲気のある場所が学校内にもあるのだと知ってもらうことに繋がったように思う。最初から一気に数を増やすことは困難であるが、生徒一人ひとりにあった読書を考えて声掛けをし続けることで、少しずつ図書室を認識してもらえたのではないかと感じている為、来年度も継続していく考えである。</p>
4	<p>本の重さあてクイズなど、手軽に参加できるイベントを図書委員さんに企画してもらいました。</p>
5	<ul style="list-style-type: none">・授業で図書資料や新聞を使うタイミングがあれば、教室ではなく図書館で授業をやってもらう・図書館資料を使わないとできない課題(宿題)を教科担当の先生に出してもらおう(例:新聞記事を選んで感想文、英語多読本を読むなど) <p>【コメント】本や文字を読む習慣のない生徒は、自発的に来る可能性は低いので授業で図書館に来る機会を作ってもらうのがよいのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none">・教科の参考書、資格試験テキストの充実 ※本校では数学、化学、物理、生物、英語が有効 <p>【コメント】高校生によく使われている参考書を整備し、教科担当の先生からすすめてもらう</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の学習成果物の展示を行い、担当教員から知らせてもらう・文化祭代替行事(文化Week)の企画の一部を図書館内で実施(体験的なことや生徒制作の動画視聴など) <p>【コメント】HRで来て体験的なことをして楽しかったようで、あまり利用しない生徒が文化Week後も自習などで図書館を利用していた。</p> <ul style="list-style-type: none">・読書くじ(本を借りた人は当たり付きガチャガチャ企画実施、当たりの人は雑誌のふろくをプレゼント) <p>【コメント】中学生には有効だが、高校生にはあまり効果は感じられない。</p> <ul style="list-style-type: none">・部活の部長・キャプテンにおすすめ本のアンケート <p>【コメント】アンケートの提出先を図書館にしているので、図書館に来るきっかけ作りにはなる</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館内に大きなぬいぐるみを置く。 <p>【コメント】ぬいぐるみは男女問わず人気。</p> <p><classroomを活用した事例> 図書館だよりの配信/本校図書館蔵書検索サイトの配信/進路でおすすめの電子書籍リスト配信</p>

6

読書週間に、しおりコンテストをしたり、図書館クイズをしたりして、図書館に足を運ばせるような企画を行った。

7

読書週間中、本を借りた人に、先着順で雑誌の付録プレゼント企画

8

- ① イベント(葉作り)やプチプレゼント企画(お守り)、古雑誌市など、月に一つは目玉になるような企画を準備し、毎月、図書館だよりの見出し(一面?)で大きく紹介した。
- ② (効果はわからないが)返却日の紙におすすめ本を掲載するようにした。そのほか、企画のおしらせもしている。返却日の紙は葉代わりに使う生徒が多く、結構見てくれている印象。
- ③ 図書館のHPもあるが、閲覧者が多い学校のSNSの方に図書館に関する記事を投稿する。

9

読書週間イベントの企画の一つ、「雑誌ふろくプレゼント」は1日1回、本を借りるともらえるポイントを3つ貯めると欲しい景品にエントリーできるというものです。廊下から景品が見えるように掲示したため、普段図書館を利用しない生徒も来てくれました。景品はリュックや財布、アニメポスターなどが人気でした。

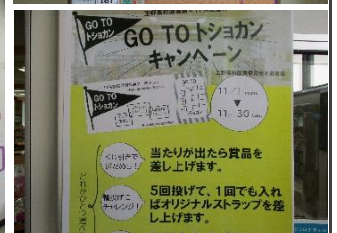


10

図書館に来てもらうために、「本を借りなくても、ちょっと休憩という感じでもOK」というように図書館だよりで呼びかけている。授業で図書館を利用するとき、貸出できるように休み時間にはできるだけカウンターにいるようにしている。

11

- ・生徒の通る廊下に掲示板を設置:新着図書のほか毎日の占いを掲示し、占いついでに新着図書や館内展示等の情報を 見てもらえるようにした。
- ・GO TO トショカンキャンペーン:館内イベントに使えるクーポン(PON)を全校生徒に配布し、図書館に足を運んでもらえるようにした。
- ・季節ごとの壁面装飾:話題になれば・・・と。
- ・図書館だよりの文字数をできるだけ減らし、ビジュアル強化で発行した。



12

- 1年生現代文の課題に合わせて、生徒に本や図書館に向ききっかけづくりとした。
- ① 課題解決(この場合はレポート作成)を目的に図書館に来る→普段本を読まない生徒にも、関係のある場所であることを認識してもらう
 - ② 様々な形態(紙・電子書籍)の資料をそろえている→生徒が個々の特性に応じて本を利用できるようにすることで、読むことへの抵抗感を少しでも緩和できたらよい
- ↓
- ・休業期間前に課題設定をしてくださったので、合わせて自分の読みたい本を見つけて借りる生徒も多かった
 - ・図書館になじみのある常連さんや掃除当番さんが、あまり来館しない生徒を連れてきてくれたり案内してくれたり、和気あいあいとした雰囲気が見られた
 - ・時期に合わせて図書館だよりに電子図書館の利用の仕方を宣伝したので、他学年の生徒からも問い合わせもあった

② 課題用ブックリスト【1年生 普通科・情報科 現代文】

1年生の現代文、情報科の課題に合わせたブックリストを作成しました。各課題の課題用ブックリストは「検索」をクリックしてください。各課題の課題用ブックリストは「検索」をクリックしてください。各課題の課題用ブックリストは「検索」をクリックしてください。

・リスト:各課題の課題用ブックリスト
[japanknowledge](#)
 →ジャパンケンレックスSchoolにログインして電子書籍を閲覧することもできます。
[google](#)のアカウントでログインください。

eLibrary [eBooks](#)

→各課題の課題用ブックリストは「検索」をクリックしてください。

電子ブックリスト_eBook.pdf

PDF

ジャパンケンレックスSchool

トップ | 図書館利用の手引き

13

図書委員の生徒が自己紹介(顔写真付き)と読みやすいオススメ本を紹介する特集号を作成して配付した。そのカラー版を各HR教室に掲示した。さらにそれと連動したコーナーを作成した。



14

図書館だよりをGoogle classroomで配信をした。

15

おみくじ。ひきたいために借りている生徒もいました。

16

棚や机の移動。キャリア関連・受験対策・セルフメンテナンス・大型の図鑑等のコーナーの設置。(一時的なコーナーとしてではない)
読書週間や昼休みに校内放送

17

- ・読書キャンペーン(景品につられて、普段本を借りない生徒がたくさん借りに来た)
- ・スライドショー動画を作成し、ビジュアルに訴える動画を生徒に配信した(classilにて)
- ・美術の授業とコラボして、展示を行った(自分の絵が飾ってあると、見に来る)

18

- ・昨年10月にオンラインでの文化祭を行った際、図書委員長による図書館や新書紹介。その後、動画が良かったのか図書室利用者が増えた。
- ・国語の授業との連携。
実際に一度も利用したことが無い生徒が、授業だからと渋々本を読んでいたが、興味を持つようになって利用回数が増えた。

19

国語の授業で図書館を使ってもらい、借りられる機会を増やしました

20

授業を受けに来た生徒たちに口頭で薦めました。展示に目を留めた子には具体的に何冊か本を提示して、その中の一冊を試しに読んでもらいました。classroomは、来年度から取り組みを始めます。

21

読書週間に合わせて、読書ビンゴを実施した。分類番号のビンゴにしたことで、9類以外の本を手取るきっかけになったように思う。古雑誌やしおりなどを景品にしたことで、普段図書室を利用しない生徒の来館と図書貸出につながった。



22

- ・読みたい本や興味のある本のリクエストを募り、可能な限り用意をした。
- ・「図書館だより」で様々なジャンルの本を紹介した。
- ・マンガの購入をいつもより積極的に行った。

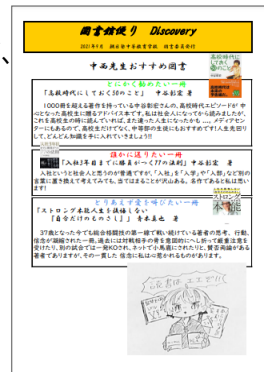
23

本校の教務事務職員の方に舵取りをしていただき、本の探し方や話題の本について「図書だより」でお知らせしました。

図書館委員会活動事例

1

委員会の活動は、お昼休みの10～15分作業のみ。
 (新着本の装飾、図書館内と外にある飾りつけづくりなど)
 図書委員だよりの発行。(前期1回、後期1回未発行)
 図書委員だよりはクラスルームをつかってデータのやり取りをしているが、
 生徒が見ていない場合もあって、直接会った時に話す方が多い。



2

- ・清掃当番の呼び出しや、カウンター当番の休止連絡にclassroomを使用しました。あまり活用できていません。
- ・文化祭と読書週間のときに、ひとり画用紙1枚使っておすすめ本の紹介をしてもらいました。

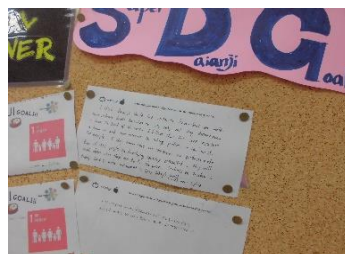
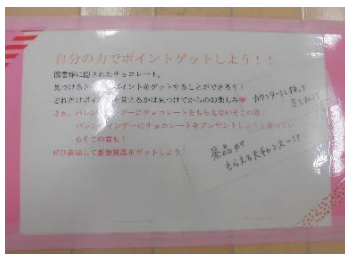


3

学級文庫を前期、後期で入れ替える、及び紛失しないように管理する活動を行った。
 以前から学級文庫は各クラスに10冊～13冊ほど置かれていたが、中身が変わっていなかった。また、例年紛失も発生していた。
 他校の先生からもアドバイスを頂き、紛失に関しては学級文庫のチェックリストを作成した。図書委員は、毎月一度は学級文庫が揃っているかリストを使ってチェックを行い、前期の終わりに学級文庫と一緒に図書室へ返却。入れ替えは夏休みの間に行い、新しいチェックリストと共に後期の最初に各クラスへ持って行ってもらった。
 学級文庫にはシリーズものの1巻や、心理・人生論などリラックスに繋がる本など、図書室に続きを探しに来てもらえる本・小説以外の本も入れるようにした。そうすることで、「学級文庫の続きが借りたい」という生徒が数名ではあるが来てくれた。
 今年度は学級文庫の紛失が起こっていないため、図書委員が意識を持って活動してくれているように感じている。

4

バレンタインの時期に、ラミネートしたチョコを本棚に隠しておき、それを見つけたら景品ゲットという企画をしました。
 チョコの裏にはポイントを書いておきます。
 今回は景品にしましたが、雑誌の付録とか古雑誌の引換券でもできるなあと思いました。



5

①〈この本読んで〉→図書委員のおすすめの一冊を、本人の写真入りで図書館前に展示した。紹介された本の問い合わせが多数あり好評だった。
 ②〈読書応援週間〉を設定いろいろなイベントを行った。
 例1:「とある部長の本のススメ」→本校の全33部の部長からおすすめの一冊を紹介してもらい、コメント付きの本人の写真を図書館前に展示した。①同様に、紹介された本の問い合わせが多数あり人気の展示となった。
 例2:特別教室×図書館→物理室と生物室に、図書委員が選んだおすすめ本を展示した。ちょっとした隙間時間に本を手にとってもらえ好評だった。



6

- ・図書委員だよりを、今年度はgoogleスライドを使って作成してもらいました。掲載する委員による本紹介も、フォームを使って記事集めを行いました。担当生徒は、「扱いにはなかなか慣れないけれど、自分のスマホでも文章が入力できる点と、担当者が同時編集できる点はやりやすかった」と言っていました。
- ・今年も図書委員会のクラスルームを作成しましたが、確認していない生徒もいるので、ほとんどの連絡は紙と併用になりました。

7

- ・図書館縁日(さかなつり、ボウリング、パターゴルフ、動物くじ)
- ・気になる新聞記事を切り抜き、感想を書き、展示



8

本校に図書委員会は設置されていません。

9

七夕の笹に飾りつけ



10

「セレクトブック」図書課長の発案で、各教室に図書委員が選んだ本をカゴに入れて置いておく。毎月入れ替え。「本を身近に」がコンセプト。



11

図書委員会がビブリアバトルを学年行事として立ち上げた。実行委員はクラスルームでやり取りし、投票もクロムを回して、フォームに入力するようにした。(クロムを購入していない学年だったため)

12

- ①今年初めて図書委員会のclassroomを作りました。オンライン授業期間中の簡単な連絡に使ってみました。
- ②HR(ホームルーム)文庫を全クラスに設置しました。図書委員と担任教諭に管理してもらっています。別置扱いにすると、こまめに管理できないためクラス貸出制にしました。

13

除籍する本の整備をしてもらった。画用紙に、それぞれの心に残ったシーンなどをイラスト付きで描いてもらい、図書委員のおススメ本として紹介してもらった。読書会やビブリアバトルを開催した。

14

・文化祭:先生が学生だった頃の思い出の本と当時の写真を一緒に紹介する展示をした。文化祭だけではもったいなかったなので、9月以降館内に飾っていますが、数ヶ月経っても生徒がよく見てくれている。

- ・校長先生と読書について対談:図書館新聞(館報)の特集記事にした。
- ・卒業生へのメッセージを在校生から集め、掲示をした。



15

140文字のラブレター(感謝の手紙)

- ①図書館だよりに募集要項と用紙を掲載し配布
- ②グーグルフォームでも募集をする
- ③フォーム回答と回答用紙を元にグーグルスライドを作成、図書委員と共有しフリー画像を添付
- ④図書館前に設置しているデジタルサイネージで流す



- ↓
- ・フォーム投稿をメインに想定していたので140字(ツイッターを意識)にしたが、用紙提出が多かったため、3行ラブレターにすればよかった。字数制限ではなく行数指定のフォームは作れるのかな？
 - ・フォーム投稿は少なかった。クロムブックを全学年が持つようになるまでは、まだ工夫が必要。
 - ・スライド完成後にデジタルサイネージで流すと、ラブレターを書きたいという生徒が増加した。

16

本校の図書館を紹介する動画を制作した。演技や構成は図書委員生徒が行い、編集、制作も生徒による完全オリジナル。非常に面白い作品となり、新入生オリエンテーションで披露したところ、大変わかりやすく面白かったと大好評であった。



17

県立図書館のティーンズコーナーへの展示を行った。文化祭で、おススメの本の展示を行った。

18

ブックハンティングへ行き、その後自分で選んだ本のPOPの作成や読書ノートの記入福袋の作成

19

読書キャンペーンのとき、景品のポイント設定を委員の子に任せたとこ、景品をじっくり見たので、図書委員の貸出が異様に増えた。

20

図書委員、教員による図書おススメ本の作成。学校関係者のみならず、OPスクールの際に配布して好評を得た。

21

- ・クラシック音楽やオルゴールなどBGMを流した。
- ・先生のオススメ本を取材し、「図書館だより」に掲載、文化祭ではその内容をクイズ形式にし、参加型展示を行った。
- ・「日本絵本賞ポップ交流サイト」に応募し、全校に絵本のポップ作成を呼びかけつつ、ポップの投稿も行った。

22

読書会をしました。3年生の委員の中に教育学部志望の子がおり、選書からテーマの設定、進行を一人で務めました。『カラフル』を読みました。今の自分たちが経験している閉塞感や葛藤を主人公に重ねたり、各々のおすすめ本を紹介したりして、予定時間をオーバーする楽しい会となりました。

23

文化祭でプラ板を使ったしおり作りをしました。

24

図書委員会のクラスルームを作成し、司書から週に一度の定期連絡をした。図書委員会の活動班の希望調査・店頭買出しに行けないため代わりの購入希望・オススメ本・図書館報の原稿・活動の振り返りの記入をクラスルーム経由でフォーム提出にした。(実際の活動がない3年生や、反応のない2年生は、招待してもクラスルームに入ってくれないという問題があった。1人1台端末の1年生の反応は良い。)

25

ポップの作成。文化祭で図書委員のおすすめの本も実物を並べて紹介した。

